

《最近の県内経済》 (2025年7月を中心として)

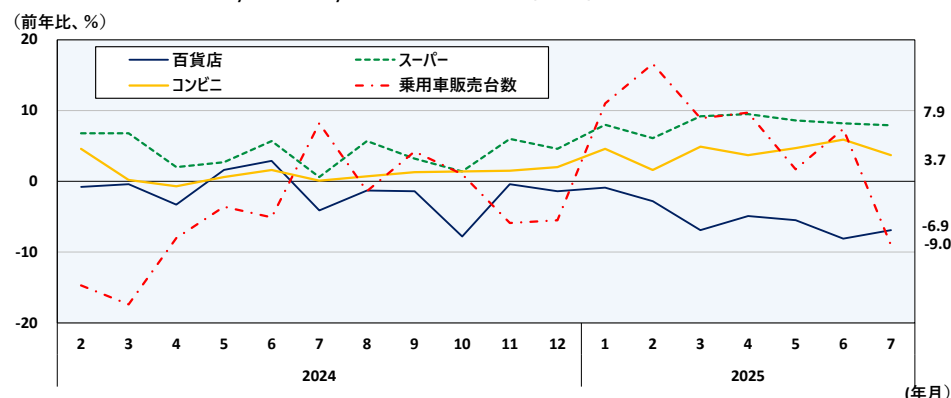
今月の概要

緩やかに持ち直している



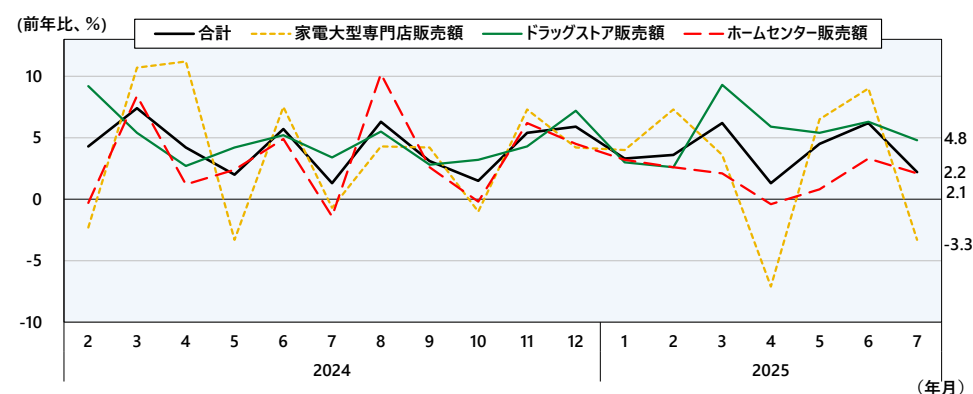
1 個人消費 ～緩やかに持ち直している →

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

7月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は112億円で前年比6.9%減（13か月連続の減少）、スーパーは1,179億円で同7.9%の増加（34か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は634億円で同3.7%増加（15か月連続の増加）した。記録的な猛暑を受け、飲料、涼味などの夏物商材を中心に堅調な販売動向となった。

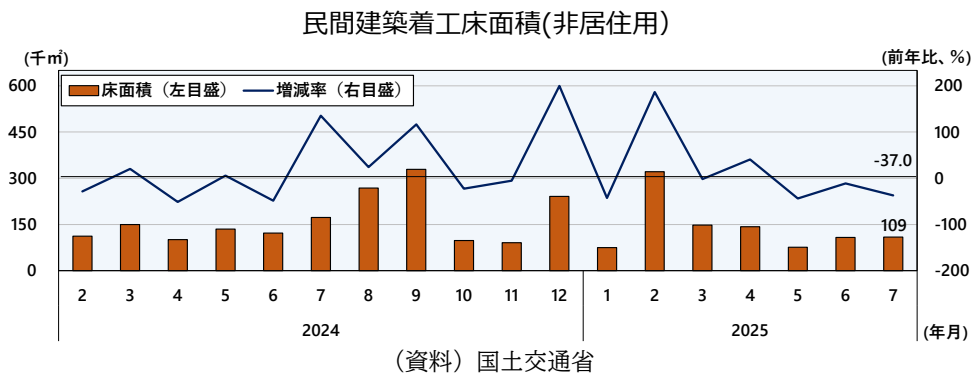
また、乗用車販売は、前年比9.0%減と7か月振りの減少となった。内訳をみると、普通車が同9.2%減（2か月ぶりの減少）、小型車が同5.2%減（7か月ぶりの減少）、軽自動車と同11.2%減（7か月ぶりの減少）となった。一連の認証不正に伴う反動増の影響が薄れたほか、一部車種における納期の長期化や受注停止もあって販売減少となった。

7月の専門量販店販売額は880億円で前年比2.2%増と34か月連続で増加した。内訳をみると、家電大型専門店が203億円で同3.3%減（3か月ぶりの減少）、ドラッグストアが473億円で同4.8%増（38か月連続の増加）、ホームセンターが204億円で同2.1%増（3か月連続の増加）となった。

家電大型専門店では、エアコンの前倒し販売の反動を主因に販売額が減少した。ドラッグストアは、客単価の増加などが寄与して売上が伸びており、ホームセンターでは、熱中症対策用品、散水用品などの販売が堅調であった。

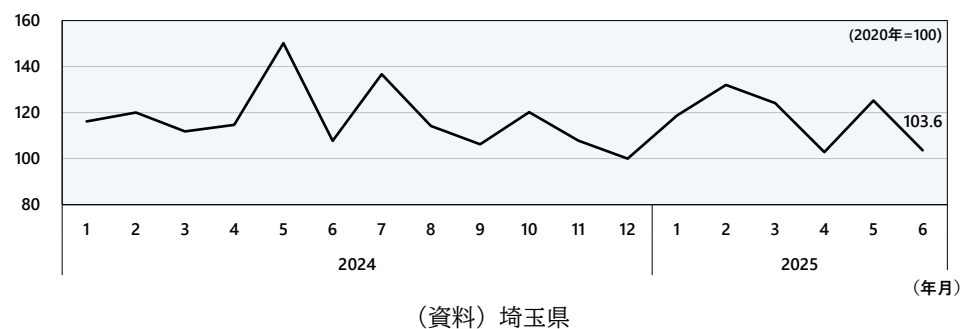
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、6月〈35.3〉、7月〈34.9〉、8月〈35.5〉と推移している。

2 設備投資 ～持ち直している ➡



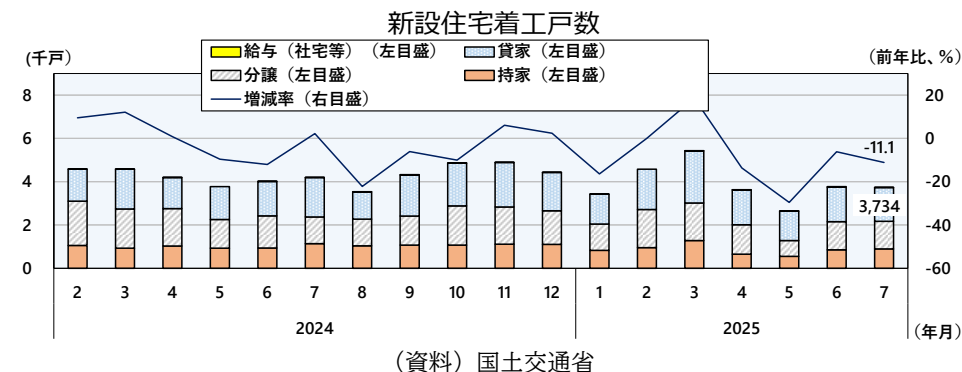
7月の民間建築着工床面積（非居住用）は、109千㎡で前年比37.0%減少した（5か月後方移動平均では、前年比14.4%減少）。用途別にみると、事務所、店舗、工場及び作業場は増加したものの、倉庫、学校の校舎、病院・診療所は減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



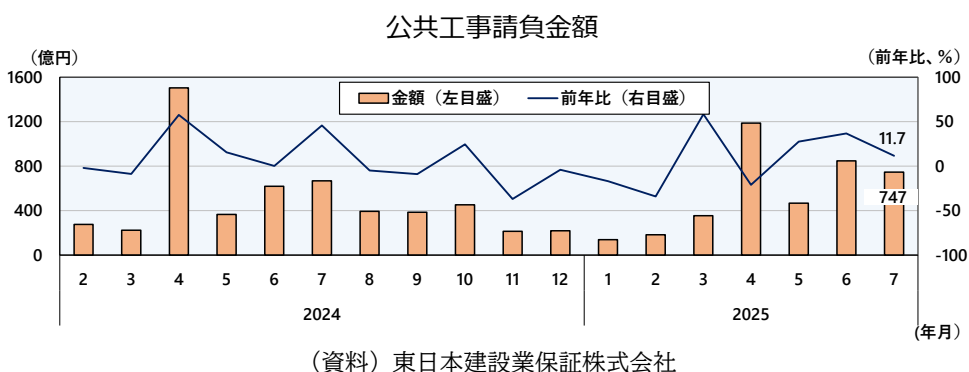
6月の資本財出荷指数（季節調整済）は103.6で、前月比17.3%減少した（5か月後方移動平均では、前年比2.8%減少）。
（参考）設備投資計画 2025年度+6.3%
財務省関東財務局 法人企業景気予測調査（2025年7～9月期）結果

3 住宅建設 ～弱含んでいる ➡



7月の新設住宅着工戸数は、3,734戸で前年比11.1%減少した（5か月後方移動平均でも7.5%減）。利用関係別にみると、分譲マンション（232戸）が同75.8%増となったものの、持家（896戸）が同21.2%減、貸家（1,564戸）が同14.2%減、分譲一戸建て（1,001戸）が同9.3%減となった。

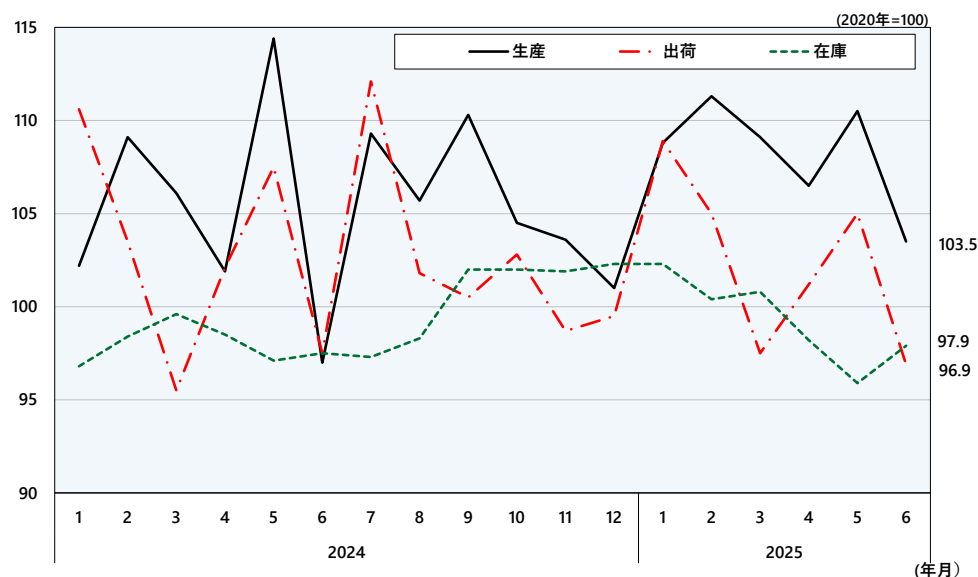
4 公共工事 ～底堅く推移している ➡



7月の公共工事請負額は747億円、前年比11.7%増加した。5か月後方移動平均でも前年比6.6%増で推移。発注者別の前年比をみると、市区町村、地方公社は減少したものの、国、独立行政法人等、都道府県は増加した。

5 生産活動 ～一進一退 ➡

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



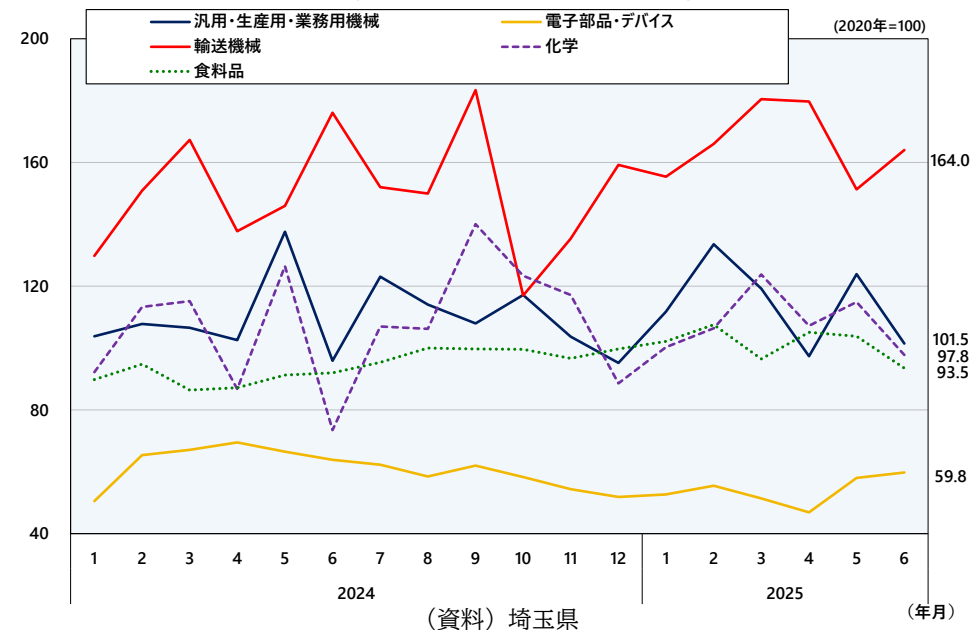
(資料) 埼玉県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、103.5で前月比6.3%低下(2か月ぶりの低下)した。輸送機械(航空機用部品)、業務用機械(精密測定機)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、生産用機械(半導体製造装置、研削盤)などが低下した。

出荷指数(同)は、96.9で同7.7%低下(3か月ぶりの低下)した。業務用機械(精密測定機)、鉱業(石灰石)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、研削盤)、化学(医薬品、化粧品)などが低下した。

在庫指数(同)は、97.9で同2.1%上昇(3か月ぶりの上昇)した。プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)、食料品(精米、小麦粉)などが低下したが、電気機械(クッキングヒーター、電気測定器(半導体・IC測定器を除く))、情報通信機械(ガス警報器、金銭登録機(端末機能付))などが上昇した。

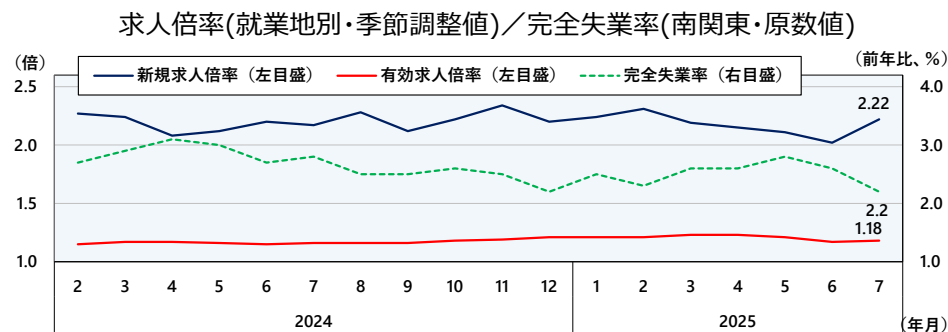
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、101.5で前月比18.1%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、59.8で同3.1%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、164.0で同8.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、97.8で同14.9%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 食料品(同)は、93.5で同9.9%低下し、2か月連続の低下となった。

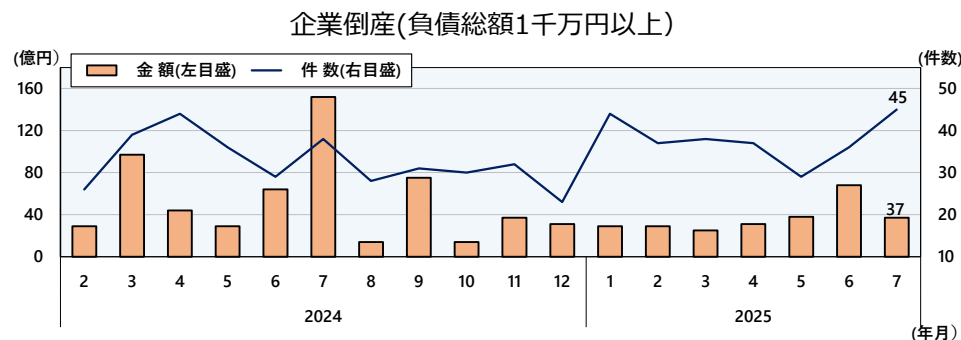
6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している ➡



(資料) 厚生労働省、総務省

7月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.18倍で前月比0.01ポイント上昇した。新規求人倍率(同)は、2.22倍で同0.20ポイント上昇した。
また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.2%で前年同月比0.6%低下した(前年同月比6か月連続の低下)。

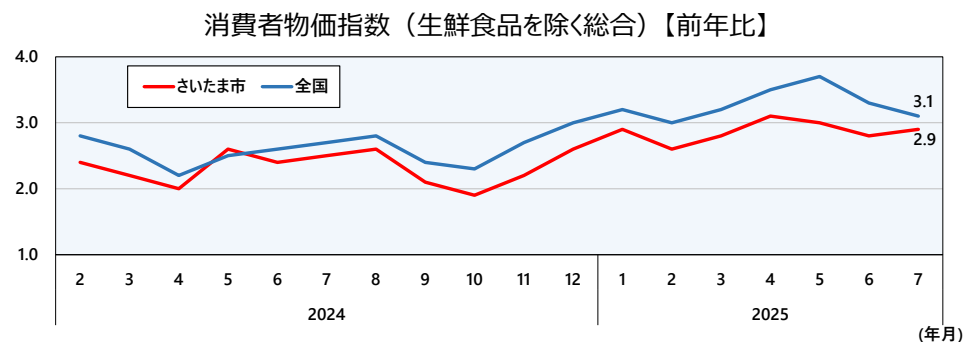
7 企業倒産 ～緩やかな増加基調にある ➡



(資料) 帝国データバンク

7月の企業倒産件数は45件で前年同月比7件増加した。また、負債総額は37億円で同比114億円減少した(5か月移動平均では、件数は前年比横ばい、負債総額は同37億円の減少)。
業種別にみると、建設業が最多で13件、次いでサービス業が11件、小売業が9件となっている。主因別では、販売不振が40件となっている。

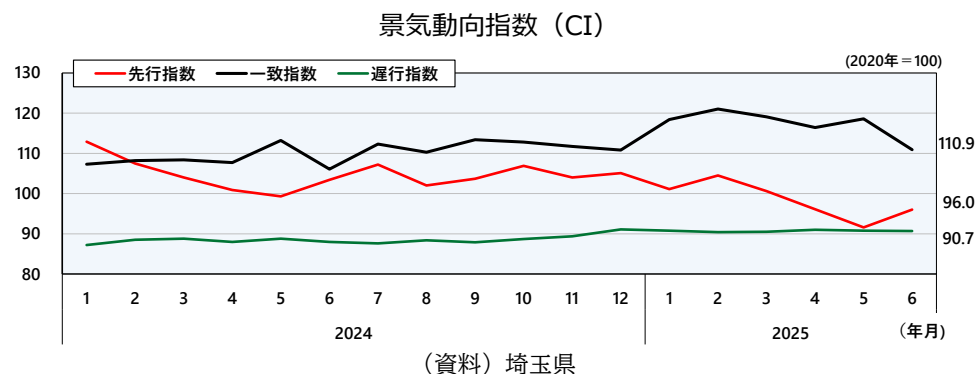
8 消費者物価 ～緩やかに上昇している ➡



(資料) 総務省

7月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、110.4で前年同月比2.9%上昇した(46か月連続の前年同月上昇)。
食料(穀類、菓子類、飲料)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～足踏みを示している



(資料) 埼玉県

- ・6月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、110.9で前月比7.5ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、96.0で同4.2ポイント上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、90.7で同0.1ポイント下降し、2か月連続の下降となった。